

平成28年度第3回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成28年12月17日(土) 午前10時～12時

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

(委員) 押樋委員長 埴副委員長 藤澤委員 菊地委員 杉村委員 服部委員
須賀委員 西村委員 大野委員 水田委員
(事務局) 斎藤館長 加藤副館長 白沢係長 森田係長 三輪副主査

4 議題

報告事項

- ①平成28年度上半期利用統計及び事業報告について
- ②決算委員会について
- ③蔵書点検について
- ④平成28年度図書館自己点検評価について

5 議事の概要

- ①平成28年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- ②決算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③蔵書点検について、事務局より報告を行った。
- ④平成28年度図書館自己点検評価について、事務局より説明を行った。

6 会議経過

- ①平成28年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) メールによるレファレンスも実施しているが、推進していくのか。

(回答) まだ件数は少ないが、ツイッターでPRしたところ1日に3～4件来るようになった。今後もPRしていきたい。

(質問) 窓口で受けるのと違って、メールでは結果が見られないが、利用者のフィードバックはどのように得ているのか。

(回答) レファレンスの記録票に、その都度満足度調査の結果を記録している。評価は職員の主観であるが、メールで量れないところは今後工夫をしていきたい。

(質問) 業務が拡大する一方に感じるが、今後専任をつける予定はあるのか。

(回答) 職員1人で対応するのは困難なので、担当者複数で共有してあたって

いる。

(質問) サービスの優先順位も必要ではないか。

(回答) 今後、大規模改修にあたり、運営の見直しも行っていく。

(意見) 地域資料が弱い印象を受けるが、浦安の資料は浦安で持っていなければならない。資料がなければ古書店や近隣の図書館から借りて収集するなどの工夫はしているのか。

(回答) 浦安市はもともと原資料がないことが悩みである。広報うらやすも初期のものは散逸している。歴史的な資料も存在しない。今後は、他市の資料に記載されている情報などの収集も課題としていきたい。

(質問) 全体では増えているが、ブックトークが減少しているのは？

(回答) ブックトークは高学年対象なので、たまたま要望が少なかったこともある。また、職員を派遣するための日程調整などがあり、全ての要望に応えられるわけではない。調整の結果の減少である。

(質問) 学校で読み聞かせ等を行うのはボランティアなどでもいいのではないか。図書館はそれを支援すればいいのでは。

(回答) 保護者のボランティアによる絵本の読み聞かせに対する支援は、日常的に対応している。本の紹介や講座も実施している。ただし、図書館が授業時間を1時間いただいて行うものは、職員が責任を持って行うべきと考えている。

(意見) 学校では子どもたちがとても楽しみにしている。学校司書も、公共図書館のバックアップについて感謝しているとのことだ。

(意見) 日程調整をして行っているなら、単純に増加が望めるものでもないだろう。日常的に支援をしているのであれば、なんらかの形で統計に反映できないか。

(意見) 学校図書館では、学校司書が主役になるべきだと思っている。公共図書館はその支援を、今後もできるだけやってほしい。

②決算委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(意見) マイクロスキャナーはなくなっていくものと思うが、今後も持ち続けるのか。

(回答) 図書館では明治期からの新聞のマイクロフィルムを所蔵している。今後は縮小していくものだが、電子化されていない情報もあるのでまだ必要なものである。将来的にはデータベースに移行していく。

(意見) 会議資料の送付はメールで行ってはどうか。

(回答) メールのみで可能な委員にはそのように対応していく。統計資料等は会議時に紙の資料が必要と考え、印刷したものを送付している。

③蔵書点検について、事務局より説明を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）不明率は低いと考えていいのか。

（回答）全国的に見ると、かなり低い。

（意見）もっと注意を喚起したほうがよいのではないか。

（回答）無断持ち出し等について、注意の喚起は必要であるが、大方の利用者はよく使ってくださっている。できれば「～しないでください」という表示ばかりをせずに、ユーモアを交えて伝えるなどの方法を考えていきたい。

④平成 28 年度図書館自己点検評価について、事務局より説明を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）目標の指数はどう決めているのか。

（回答）ベースとしては前年度実績である。

（意見）指数の根拠があまりないと感じる。半期だから 50%というのは乱暴ではないか。

（意見）達成度を数値化することに意味がないと感じる。

（意見）同じ数値でも意味合いが違う。

（回答）今回は試行であるので、いただいた問題点については、再度検討したい。また、1月に研修会を開催するので、引き続き研究もしていきたい。

7 傍聴者 0名